

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力力で上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

送信先: report@r-ict-advisor.jp

報告日 令和5年2月2日

派遣決定番号

報告回次

2日目

## 令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	益田市	代表者名	山本 浩章		
担当者部署	政策企画局 政策企画課 行革・DX推進室	連絡先電話番号	0856-31-0121		
担当者役職	室長	担当者氏名	岩井 加恵	連絡先E-mail	
住所	698-8650 島根県益田市常盤町1番1号				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	多田 功
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	グループ相談会では、業務の現状を知るために使えるツールとして目標設定マンダラチャートをご紹介いただくなど、まず取り組めることを具体的にお示しいただいた。また、パネルディスカッションでは、ご自身が取り組まれている毎日3つの目標達成などについてご紹介いただき、できることから少しずつ取り組む大切さを伝えていただいた。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和4年7月22日	支援・助言(実地)	有	令和4年11月8日	360
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年1月27日	支援・助言（実地）	9時15分	14時40分	70
				活動時間（分）	255
3-2. 派遣場所	会場名	島根県芸術文化センター「グラントワ」	最寄駅	JR益田駅	
	所在地	島根県益田市有明町5-15	最寄駅からの交通手段	徒歩	

### 4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/)

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	島根県内自治体職員	47人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	自治体DXについては、全国の自治体において数多くの先進事例があるにもかかわらず、本県においてはそれらが十分に共有できていない。そのため、小規模自治体の多くでは取組が後進的となっているのが現状である。また、本制度に関しても認知度が低く、昨年度の活用実績は県内3自治体に留まっている。これらを解決するため、県内の自治体でネットワークを作り、本制度を活用した研修を開催することでDX推進の機運の醸成を図るとともに、本制度の認知度アップにつなげていきたい。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	地域情報化アドバイザーを始めとする自治体DX先駆者から、実際の取組事例を紹介していただくことで、導入時のポイントや進め方など、今後の取組のヒントを教えてください今後の自治体DXの取組を加速させる。また、この機会をもとに担当者間の横のつながりを持つことで、県一丸となって進めて行く体制を構築する。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	午前のグループ相談会（20分×7グループ）では、参加者の自治体職員がDXの取組を進める上で抱えている悩みごとに対して、資料を提示いただきながら丁寧に回答・助言を行っていただいた。午後のパネルディスカッションでは、モチベーション維持の方法や庁内外での仲間づくり、壁にぶつかったときの乗り越え方など、業務を進める上で大切にしている心構えなどを中心にお話しいただいた。これらにより、職員の意識が変化し、今後の業務に生かされることを期待したい。	
支援を受け改善又は解決された内容	研修を受講した職員の意識変化が見られることが現時点での成果である。現在行っている参加者アンケートにおいて、「庁内で仲間をつくり、できることから少しずつ取り組んでいきたい」「多田さん、	

(具体的にご記入下さい)	アンケートにおいて、「1か月以内の仲間づくり、できることがオンライン取り組んでいきたい」「多田さんが毎日実践されている三つの目標達成を、自分もやってみようと思います」といった感想が届いている。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	④途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特にありません。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 現在アンケート実施中	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	県内の自治体間の協働・連携を強化し、自治体DXを推進するとともに、最終的には、すべての島根県民の利便性向上をめざす。	

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。  
なお、その他を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

1-1.

#### 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



